

国際シンポジウム

日本語教育における多読・速読の理論と実践—多読と速読で読みの流暢さを伸ばそう！—

2021年3月27日(土) オンライン



# 速読教材の開発

渡部倫子（広島大学）



# 公開中の速読教材

科研成果報告サイトにて、2021年4月より公開



日本語の自律学習・アセスメント・テストニング支援サイト

Computer Assisted Autonomous Japanese language learning, Assessment and Testing

<http://caaat.hiroshima-u.ac.jp/>

<http://160.16.101.253/kouka/>

# 読みの流暢さの定義

(Grabe, 2009; Schwanenflugel & Ruston, 2008)

- 苦も無く正確に読める能力
- 文意に沿った抑揚で適切に区切って読める能力
- 大意把握のテキスト理解

第二言語の読解指導では最も重要な要素の一つ

(Grabe, 2004, 2009; Nation, 2009)

# 読みの流暢さに関する先行研究

- 初級の段階から流暢さを育む指導が行われるべき (Tabata-Sandom, 2017)
- 多読・速読は、読みの流暢さの向上に効果があることが実証されている (Grabe, 2009, p.291)
  - 多読 : e.g., Al-Homoud & Schmitt, 2009; Beglar & Hunt, 2014; Cho & Kim, 2004; Iwahori, 2008
  - 速読 : e.g., Chang, 2010; Chung, 2010; Chung & Nation, 2006; Macalister, 2010; Tran, 2012

# 読みの流暢さに関する先行研究（英語）

- 読みの流暢さを伸ばすための教材開発：長さ・語彙の難易度をコントロール（Quinn, Nation, & Millett, 2007）
- 読みの流暢さを示す指標：70%以上の内容理解を伴うWPM：Word (read) per minute（e.g., Chang, 2010; Chung, 2010; Chung & Nation, 2006; Macalister 2010; Tran 2012）

# 日本語教育では・・・

盛んな多読研究 vs 乏しい速読・繰り返し読みの研究

- **多読**：池田, 2003; 熊田, 2016; 江田他, 2005; 福本, 2004; 三上・原田, 2011; Banno & Kuroe, 2016; Hitosugi & Day, 2004; Nakano, 2016; Tabata-Sandom, 2017
- **速読**：西郡, 1992; 和氣, 2002; Tabata-Sandom, 2017
- **繰り返し読み**：Fujita, 2012



# 課題

- 読みの流暢さは重要なのに重視されていない
- 多読・速読の効果検証が十分になされていない
- そもそも日本語の読みの流暢さを測定するツールがない
- 読みの流暢さをのばす速読教材がほとんどない

(渡部・徐・山下・横山・老平, 2015)

**レベル別の速読教材を開発しよう！**

# 速読教材

1. 難易度を統一した複数の読みものと内容理解問題
2. 異なった読み物を読んでも速度の比較が可能
3. 流暢さの向上（正答率を維持したまま、速度UP）が測定できる



# 速読教材の開発の流れ

1. 読み物を作成
2. 読み物の難易度を確認
3. 各読み物に内容理解問題13問を作成
4. 3. の内容理解問題の難易度を確認
5. 3. の内容理解問題を10問に精選
6. 同じレベルの複数の読み物の難易度が同程度かを検討

# レベル別の速読教材

日本語テキスト語彙分析器 J-LEX (菅長・松下, 2013)等 で確認

	長さ ±10語	語彙 カバー率95%以上	文法 旧JLPT	作成数
初級修了	400語	1285語	3・4級	10
中級	450語	4000語	2級	10
上級	500語	6000語	1級	10 (未公開)

ほうほう

方法:

1. これから日本語の文を読んで、それについての質問に答えてください。
2. 日本語の文は10あります。好きな文を選んでください。
3. 文を速く読んでください。後でその文についての質問があるので、読む時、内容(=何が書いてあるか)にも注意してください。
4. 読んでいる時、声を出さないでください。紙に何も書かないでください。
5. その後、次のページの質問に答えてください。質問に答える時、前のページの文を見ることはできません。
6. 質問の答えは、日本語の文の内容に合ったものを選んでください。

しょきゅうもんだい  
初級問題

れんしゅう  
練習してみよう！  
れんしゅうようよものめわるひと  
練習用読み物「目が悪い人のために」

よもの  
読み物1 アメリカンサモア

よもの  
読み物2 ニュージーランドの鳥

よもの  
読み物3 9枚の皿

ちゅうきゅうもんだい  
中級問題

れんしゅう  
練習してみよう！  
れんしゅうようよものめわるひと  
練習用読み物「目が悪い人のために」

よもの  
読み物1 オウム真理教

よもの  
読み物2 タイタニック

よもの  
読み物3 どのチョコレートが欲しい？

# J-LEX

<http://www17408ui.sakura.ne.jp/execut.php>

ら、男の人よ、与典を使って結婚する女の人を採すことにしました。こうして、ハワイにいる男の人と、日本にいる女の

頻度レベル:

1286 位以上 位以下を赤でハイライト

ベース **留学生用(語彙)** 通常

【げん】での判定:  on  off

再判定

た。与典とは違つ方のへを見し、ひつくりひに女のへも多かつたてです。

指定範囲外のテキストカバー率 94.5 %

超上級 (16001位以上)

0 0 0 0 0

リストに該当なし

0 0 0 0 0

合計

401 2 0 1 13

# 読み物の作成

1. 総ルビ：漢字の知識ではなく流暢さに焦点をあてる
2. 脚注・挿絵はなし：言語以外から入る情報を制限し、読む量を統一する
3. 固有名詞の数を抑える：既知語率を上げ、認知的な負荷を下げる
4. 内容が既知かを考慮：すでに持っている知識で推測できる内容のものは削除する

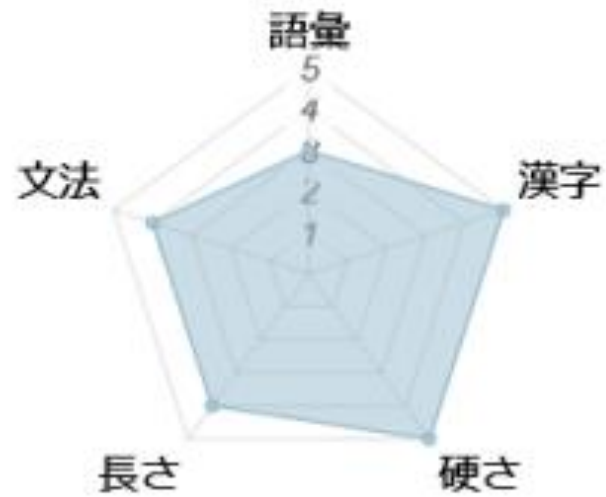
# 読み物の難易度の確認

- やさ日チェッカー（「やさしい日本語」科研グループ 2012）  
<http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/nsindan/>

The screenshot shows the 'Yasanichi Checker' web application. At the top, there is a navigation menu with links: 'やさしい日本語', 'ごあいさつ', '「やさしい日本語」とは?', 'リンク集', '出版物', '研究論文', '講演・ワークショップ日程', and '研究組織'. Below the menu, the main heading reads '作成した文章を診断する Ver0.23y'. A large text input area is provided for pasting text. Above this area, there are two buttons: '既存文書の挿入' (Insert existing document) and '登録できるファイルとは' (Supported file formats). Below the input area, there are three buttons: '診断結果' (Diagnosis result) in red, 'クリア' (Clear) in red, and '診断' (Diagnose) in blue. At the bottom right, there is a footer link: '使用しているツール,言語資源一覧'.



# 判定例：ハロー・キティ（初級修了レベル）



462語です。 **総合判定 A** とてもやさしいです

項目	評定	解説	対応
語量	3	ふつうです。	初級語量が80%以上90%未満です。
漢字	5	とてもやさしいです。	漢語の量が適切で、易しい漢字を含む語も多く易しいです。
硬さ	5	児童文学レベル	1文あたりの平均名詞数が6以内です。
長さ	4	適切です。	文の長さの平均が20語以内です。
文法	4	適切です。	難しい文法が1種類含まれています。

# 内容理解問題の作成

1. 語彙・文法の難易度：読み物と同じ基準
2. 形式：各13問、4肢選択式
3. 最初の問題は「この話は [                      ] についてです。」
4. 細かい数字は問題にしない
5. 選択肢の見た目を統一させる
6. 問題が他の問題のヒントにならないようにする
7. 第三者によるチェック

# 第三者によるチェック

- 日本語教師 3 名に解答してもらい、問題と読み物を修正
  - 正解の選択肢が複数考えられる
  - 類似問題がある
  - 細かい部分の記憶力を問う問題が多い

# 内容理解問題を13問から10問に精査

詳細は、渡部・坂野・サンドーム（2017）

- 以下の指標（古典的テスト理論）を用いて検討
  1. 項目難易度：その項目に正答した人数÷受験した人数で算出、**速読での最適範囲**（Nation, 2005; Anderson, 2008; Nutall 2006）は、**0.70以上**
  2. 点双列相関係数（I-T相関）：テストアイテム得点とテスト総合得点との相関係数を算出、最適範囲は**0.40以上**

# 同じレベルの複数の読み物の難易度が同程度か検討

1. 各読み物の内容理解問題の項目困難度の平均値
2. 各読み物の内容理解、速く読むことの難しさに対する印象評定値

例) 「ハロー・キティ」の内容を理解するのは

「ハロー・キティ」を早く読むのは

非常に難しかった   難しかった   どちらともいえない   簡単だった   非常に簡単だった

5

4

3

2

1

# 内容理解問題10問の項目困難度の平均値 $n=31$

- 有意差なし :  $F(4,119) = 1.20, p=0.316, \eta^2=0.04$

	平均値	SD
ダイエット	8.19	1.78
アメリカンサモア	8.23	2.55
赤いろうそくと人魚	8.29	2.31
ニュージーランドの鳥	8.39	1.69
日本の習慣—お返しとお土産	8.65	1.64
寝る時間	8.71	1.62
ハロー・キティ	8.74	1.57
アメリカへ行った初めての留学生—ジョン・万次郎	8.74	1.67
バービー人形とリカちゃん人形	8.97	1.08
ハワイへ行った日本人—写真結婚	9.06	1.39



# 内容理解、速く読むことの難しさに対する印象評定

$n=31$

- 内容理解についての難しさ

- 有意差なし :  $Friedman\ chi\text{-}squared=13.96, df=9, p=0.124, r=0.28$

- $Mean=3.6\sim 4.1$

- 速く読むことについての難しさ

- 有意差なし :  $Friedman\ chi\text{-}squared=8.42, df=9, p=0.492, r=0.13$

- $Mean=3.7\sim 4.1$

# 今後の課題

## 1. 読み速度についての検討

各読み物の読み速度に差がないように改訂を行う

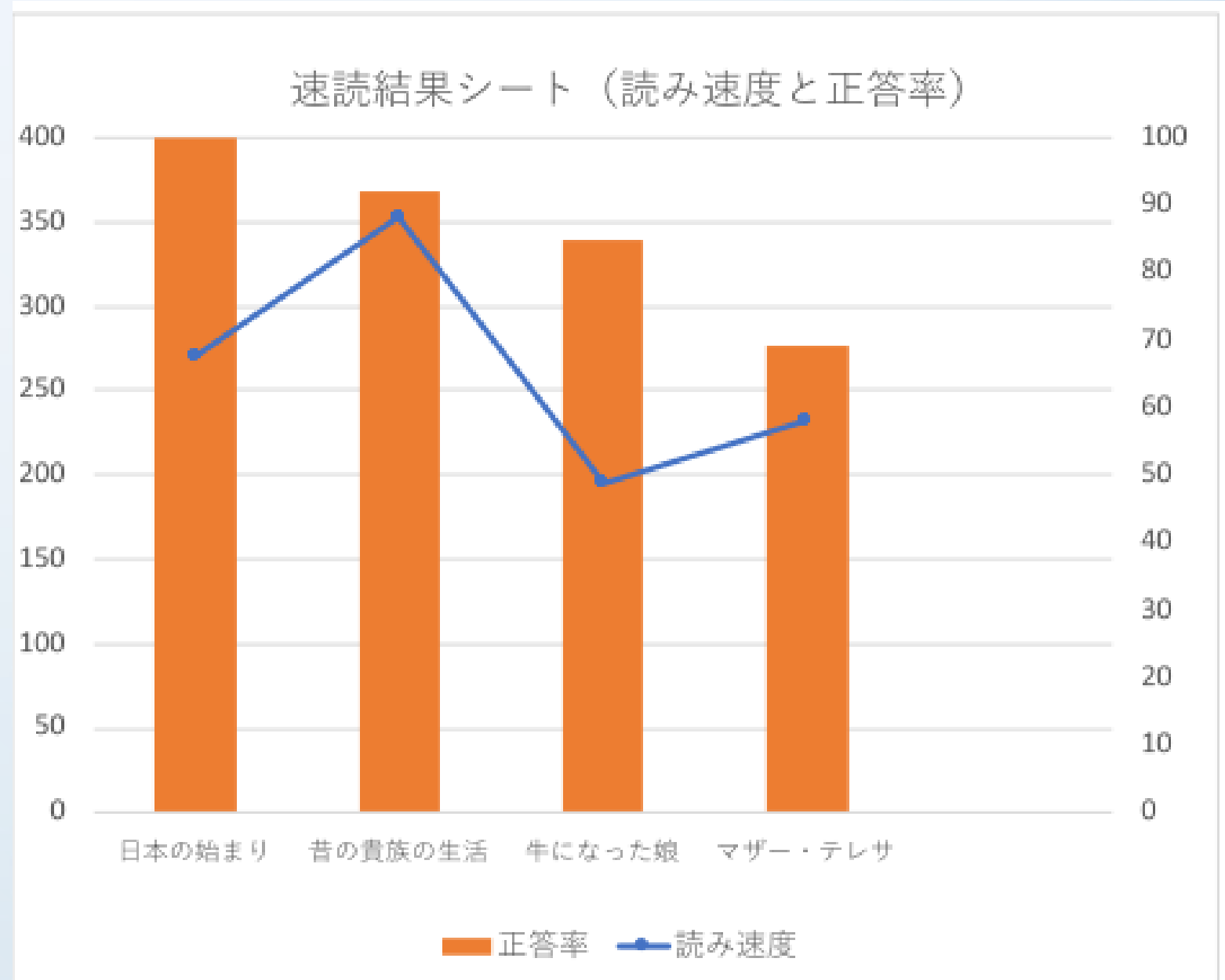
- 今回のデータ：一部の読み物の速度に有意差（ハロー・キティは9枚の皿に差し替え）

## 2. 読み物の充実

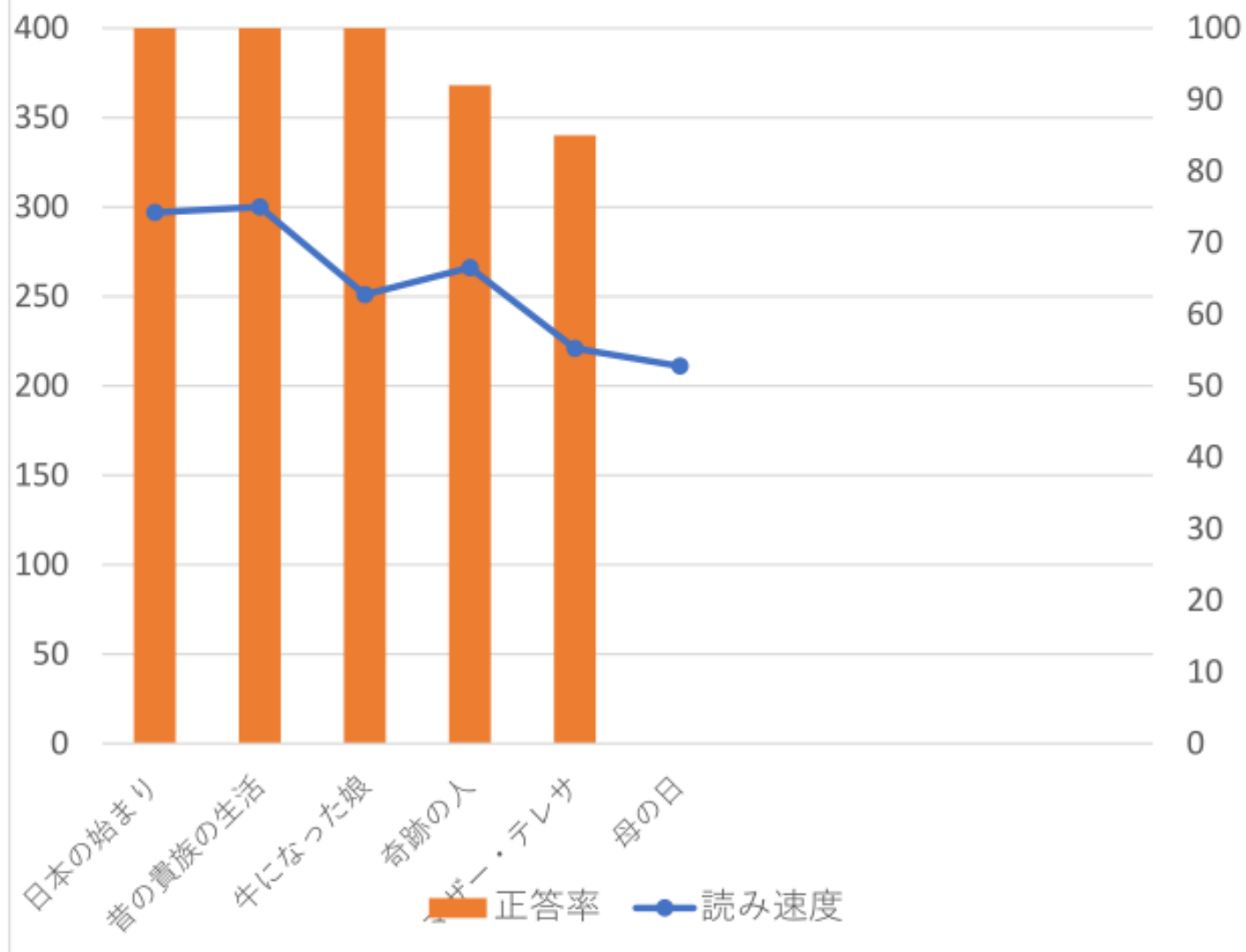
- 読み物の数を増やす
- 中級と上級の教材の内容理解問題を精査し、難易度の検討を行う

# 今後の課題

## 3. データ収集と教育実践



速読結果シート（読み速度と正答率）



# 参考文献

- 池田庸子 (2003). 「『学習者』から『読み手』へ：日本語教育におけるExtensive Readingの試み」 『茨城大学留学生センター紀要』 1: 45-54.
- 熊田道子 (2016). 「Extensive Reading (多読) の実践—「語り」から捉える読みの変化—」 『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』 42: 111-122.
- 江田すみれ・飯島ひとみ・野田佳恵・吉田将之 (2005). 「中・上級の学習者に対する短編小説を使った多読授業の実践」 『日本語教育』 126: 74-83.
- 菅長陽一・松下達彦 (2013). 「日本語テキスト語彙分析器 J-LEX」 URL: <http://www17408ui.sakura.ne.jp/index.html> 2017年8月27日閲覧
- 西郡仁朗 (1992). 「外国人学習者による日本語の速読：その情報処理過程に関する実験的検討」 『日本語学校論集』 18: 117-136

- 福本亜希 (2004). 「日本語教育における多読の試み」. 『大阪外国語大学留学生日本語センター紀要日本語・日本文化』 30: 41-59.
- 「やさしい日本語」 科研グループ (2012). 「やさ日チェッカー」 URL: <http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/nsindan/> 2017年8月27日閲覧
- 和氣 圭子 (2002). 「中上級クラスにおける速読練習と読解ストラテジーへの影響—学習者へのアンケート調査から」 『筑波大学留学生センター日本語教育論集』 17:127-138.
- 渡部倫子・徐芳芳・山下順子. (2015). 「日本語多読アセスメントの課題と展望 (特集 第二言語習得と評価)」. 『第二言語としての日本語の習得研究』 18: 32-52.
- 渡部 倫子・坂野 永理・田畑サンドーム 光恵 (2017). 「読みの流暢さ測定ツールの開発 — 初級修了レベルの日本語テキストと内容理解問題の検討 『ヨーロッパ日本語教育』 22巻, pp. 483-490, 201706 <https://eaje.eu/pdfdownload/pdfdownload.php?index=500-506&filename=koto-wanabe-sakano-tabata.pdf&p=lisbon>
- Al-Homoud, F., & Schmitt, N. (2009). Extensive reading in a challenging environment: A comparison of extensive and intensive reading approaches in Saudi Arabia. *Language Teaching Research*, 13(4), 383-401.
- Anderson, N. J. (2008). *Practical English language teaching: Reading*. New York: McGraw-Hill.



- Banno, E., & Kuroe, R. (2016). Effects of Extensive Reading on Japanese language learning. Proceedings of the 3rd World Congress on Extensive Reading, pp.1–9. Retrieved from <http://erfoundation.org/ERWC3-Proceedings.pdf>
- Beglar, D., & Hunt, A. (2014). Pleasure reading and reading rate gains. *Reading in a Foreign Language*, 26(1), 29–48.
- Chang, A. C. (2010). The effect of a timed reading activity on EFL learners: Speed, comprehension, and perceptions. *Reading in a Foreign Language*, 22(2), 284–303.
- Cho, K. S., & Kim, H-J. (2004). Recreational reading in English as a foreign language in Korea: Positive effects of a sixteen-week program. *Knowledge Quest*, 32(4), 36–38.
- Chung, M. (2010). The Effect of a speed reading course: A replication. *Asian Journal of English Language Teaching*, 20, 95–116.
- Chung, M., & Nation, I. S. P. (2006). The effect of a speed reading course. *English Teaching*, 61(4), 181–204.
- Fujita, E. (2012). *The effects of oral repeated reading on reading rate, comprehension and pauses for the learners of Japanese as a foreign language* (Doctoral dissertation, Purdue University).

- Grabe, W. (2004). 3. Research on teaching reading. *Annual review of applied linguistics*, 24, 44–69.
- Grabe, W. (2009). *Reading in a second language: Moving from theory to practice*. The Cambridge applied linguistics series. New York: Cambridge University Press.
- Hitosugi, C., & Day, R. (2004). Extensive Reading in Japanese. *Reading in a Foreign Language*, 16, 20–39.
- Iwahori, Y. (2008). Developing reading fluency: A study of extensive reading in EFL. *Reading in a Foreign language*, 20(1), 70–91.
- Macalister, J. (2010). Speed reading courses and their effect on reading authentic texts: A preliminary investigation. *Reading in a Foreign Language*, 22(1), 104–116.
- Nakano, T. (2016). Extensive Reading for Second Language Learners of Japanese in Higher Education: Graded readers and beyond. *The Reading Matrix*, 16, 119–132.
- Nation, I.S.P. (2005). *Reading faster*. PASAA, 36, 21–37.
- Nation, I. S. P. (2009). *Teaching ESL/EFL reading and writing*. Routledge.

- Nutall, C. (2006). *Teaching reading skills in a foreign language* (2nd ed.). Oxford: Heinemann Educational Books.
- Quinn, E., Nation, I. S. P., & Millett, S. (2007). *Asian and Pacific speed readings for ESL learners: Twenty passages written at the one thousand word level* (Vol. 24, English Language Institute Occasional Publication). Wellington, New Zealand: Victoria University of Wellington.
- Schwanenflugel, P., & Ruston, H. (2008). Becoming a fluent reader: From theory to practice. In M. Kuhn & P. Schwanenflugel (Eds), *Fluency in the classroom* (pp. 1–16). New York: Guilford Press.
- Tabata-Sandom, M. (2017). L2 Japanese learners' responses to translation, speed reading, and 'pleasure reading' as a form of extensive reading. *Reading in a Foreign Language*, 29(1), 113–132.
- Tran, Y. T. N. (2012). The effects of a speed reading course and speed transfer to other types of texts. *RELC Journal*, 43(1), 23–37.
- Weir, C. (2005). *Language testing and validation: An evidence-based approach*. Basingstoke: Palgrave Macmillan.



# THANK YOU

本研究は、2013年度JSPS科研費 基盤研究（B）  
19H01270（研究代表者：渡部倫子）の助成を受けた。